

1月8日

3 学期始業式式辞

みなさん、おはようございます。

12月21日に終業式から約2週間の冬休みを終えて、いよいよ今日は3学期のスタートの日となりました。

今日は3つの話をしたいと思います。

1つめは、「思いやり」の気持ちについてです。

北中坂の桜並木にある花壇の花に気づきましたか。昨年の冬休みから昨日にかけて毎日、寒いなか土の手入れと花の苗植えを地域の方であいさつ運動に来ていただいている野村さんや佐藤さんが整備してくれました。新学期始業式の日には坂を上ってくる北中の生徒の疲れを癒したい、きつかったけどきれいな花に出会えてよかったあと思ってくれるといいですね。との思いで整備してくれました。今日も早朝からあいさつ運動にきていただきました。今週は「あいさつ運動」週間となるので「気持ちのよいあいさつ」に心がけてください。

2つめは「志」についてです。

3学期は3年生にとっては40日余り、1・2年生にとっては50日余りと大変短い学期ですが、とても重要なまとめの学期であることは皆さんが十分理解しているはずです。

3年生にとっては卒業、旅立ちの準備期間であるし、1、2年生にとっては学年のまとめと次の学年への力を蓄える期間でもあります。

1年の計は元旦にありといわれます。みなさんもきっと新年に「勉強頑張ります」「部活で頑張ります」「高校に合格しますように」など目標つまり志をたてていると思います。

しかし、それを達成するために何をしなければならないのか？簡単で一番きついことは「1日1日」地道ではあるが努力を怠らないことにつきます。楽をしていい想いをするなどありえません。ひたむきに一生懸命、誰からも褒められることはないかもしれないが、自分で納得のいくように一つ一つ、日々頑張っていくしか方法はないと思います。3学期はその夢や目標を実現する大切な時期です。一人一人の目標が実現できるよう心より願っています。

3つ目は「覚悟」をもつことです。※ステージにいのしいぶんたの絵を提示する。

今年の干支がイノシシなので「いのしし年にちなんだ紹介したいものがあります。」

詩人に工藤直子さんの「のはらうた」という詩があります。そのなかに「いつもまっすぐいのししぶんた」という詩を紹介します。

みんなは寄り道するかもしれない。ぼくはしない。みんなはまよい道するかもしれない。ぼくはしない。みんなはいとやすみするかもしれない。ぼくはしない。ぼくだけは、ぼくだけは、ぼくだけはまっすぐ一生懸命はしっていくんだ。ぶんたくんは走り続けることへの「覚悟」をもっています。みなさんも新年に考えた志を達成するために「覚悟」と信念をもって突き進んでほしいと願います。

最後に、どのようにこの3学期を送るかは314名一人一人に任せられます。しかし、北

部中学校で3月の卒業時に全員が「北中でよかった」と思えるように勉強や部活、生徒会活動、生活のルールを確実に身につけて旅立って行ってほしい。みなさんの目標や夢が実現できる3学期となることを願って校長のあいさつとします。

北部中学校 校長 林 淳一郎